

3次元シミュレーションにより安心・安全な街づくりを考える

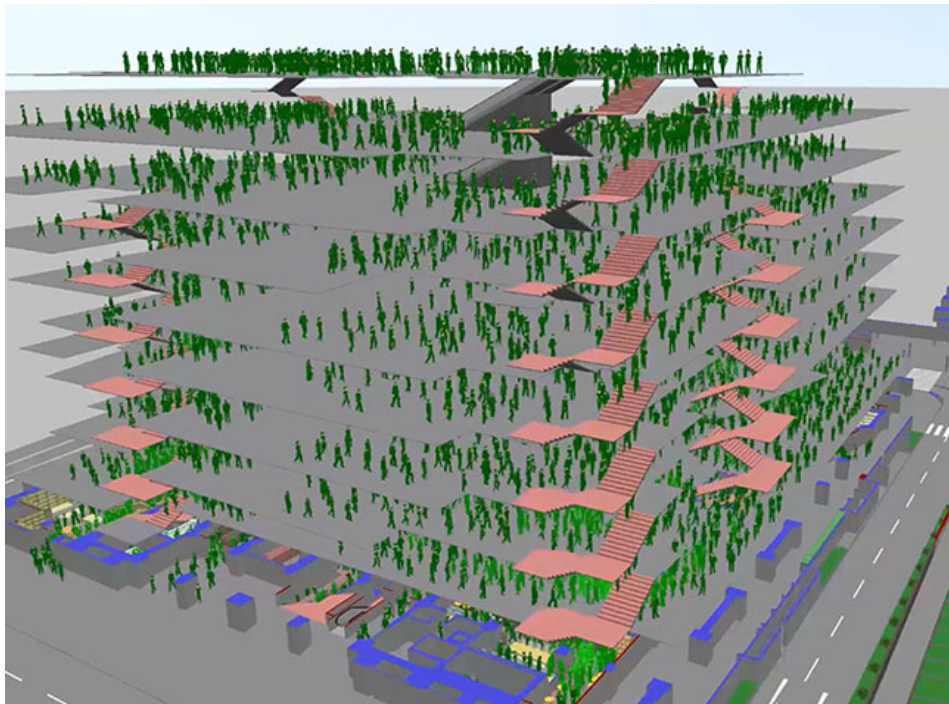
11 住み続けられる
まちづくりを

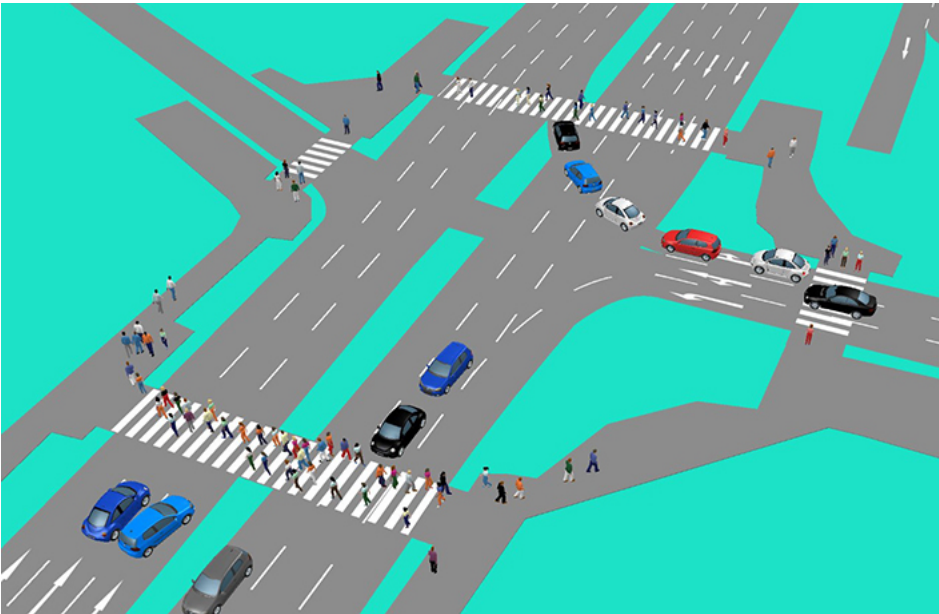


大都市部における人や車、電車などの動きを3次元空間内で再現し、避難シミュレーションや交通流分析を行い、より安全で安心な街づくりについて研究しています。

研究内容

2000年以降、わが国の大都市部では高層ビルの集積化が進み、オフィスや商業施設が増加することにより、オフィス街や繁華街は多数の人々を引き寄せる場所になっています。直下型地震やゲリラ豪雨が大都市を襲ったら、私たちはどのように行動したらよいのでしょうか？ 街の中で危険なところはどのような所でしょうか？ 安全な避難場所はどのような所でしょうか？ 3次元空間に大都市を再現し、人や車あるいは電車の動きをシミュレーションで再現し、災害が発生した時に、どのような危険な状況が生起するかなどを研究しています。



	 The image is a 3D perspective view of a simulated urban intersection. The road is grey with white lane markings and crosswalks. Pedestrians, represented by small human figures in various colors, are walking across the crosswalks and along the sidewalks. Several cars, including blue, black, red, and white ones, are positioned at different points in the intersection, some stopped and others moving. The surrounding area is a solid cyan color, representing grass or a virtual environment. The scene illustrates a complex urban traffic scenario used for simulation and analysis.
キーワード	避難シミュレーション、3次元シミュレーション、都市交通流分析
研究リーダー	情報科学部 情報科学科 教授 中村 栄治
研究分野	土木情報学